

令和7年度一般社団法人群馬県社会就労センター協議会事業計画

一般社団法人群馬県社会就労センター協議会は、会員施設が互いに協力して、利用者が生き甲斐をもって仕事や活動に取り組めるように支援技術や人権倫理意識を磨き、利用者の生活の質の向上を目指すとともに、群馬県の障害福祉の向上に寄与できるように努める。

事業所の利用者一人一人の人権を尊重して、利用者の自立と自己実現を目指し、利用者を主体とした就労・生産活動支援サービスを提供するために必要な活動を行う。

「働くことを希望するすべての障害者のニーズや状態に応えられる多様な就労の場を設けること」を最優先課題として活動を行う。

また、社会就労センターが実施する事業の質の向上を目指して、各種大会、研修会の実施や調査活動・宣伝活動を行う。

本協議会では、平成26年4月から、工賃向上を目的として群馬県が設置した「群馬県障害者施設等共同受注窓口」の運営を受託し、大口の共同受注に応じられるような体制を整え、これまでに、共同受注を目指した共通レシピによる焼き菓子の開発、共通献立による弁当の大量注文受注、ペットボトル飲料水「極」の委託製造販売や群馬県の支援による農福連携事業等を実施してきた。

新型コロナウイルス感染症は、感染症法上は2類から5類へと引き下げられ経済循環が優先となる中、就労支援事業所では利用者の安全確保のため、感染防止対策を徹底しながら、生産活動及び利用者支援の向上に取り組む。

令和7年度では群馬県全体の工賃向上に寄与できるよう事業振興を図るとともに、障害者がその適性に応じて能力を十分発揮し、地域で自立した生活を実現することが出来るように、芸術・文化活動の機会の拡大促進にも積極的に関わり、併せて就労移行支援及び就労継続支援のサービスの質の更なる向上を図る。

制度・政策に対する働きかけとしては、令和6年4月からの障害福祉サービス等の報酬改定において、制度の見直しによる福祉施策の方向性を見誤らないよう情報収集に努め、この改定により生じる新たな問題点や課題に対処するため会員施設が歩調をあわせて、全国社会就労センター協議会を通じて国に更なる改善を働きかけていく。

【令和7年度 重点項目】

- 人権侵害ゼロの事業所集団であり続ける
- 群馬県共同受注窓口の円滑な運営と参加事業所の拡大
- 優先調達推進法を活用した官公需及び民需の推進
- 各部会活動の充実・強化
- 自主製品の改良・開発及び販路拡大
- 農福連携事業の推進
- 現場支援の推進(技術指導の推進及び芸術・文化活動の機会の拡大促進)
- 人材育成支援の強化(コンサルタント派遣事業の実施及び工賃向上研修会の開催)
- 共同受注窓口の活性化(HP「あったかぐんまのハートネット」の運営強化)

1. 基本方針

- ① 組織の基盤強化と拡大
- ② 共同受注窓口の運営に群馬県社会就労センター協議会全体で取り組む
- ③ 社会就労センターの啓発活動
- ④ 会員施設全体の工賃引上げ
- ⑤ 会員施設全体の商品の品質向上及び技術向上
- ⑥ 施設商品の宣伝と工賃引上げを目的とした事業の実施
- ⑦ 商品作りや労務提供の技術水準を高めることを目的とした、全体、部門別研修会の実施
- ⑧ 施設長及び職員の資質向上と連帯の強化
- ⑨ 全国セルフ・関東セルフ協との連携の強化

2. 事業

○ 全国・関東セルフ関係（全国大会・研修会等）

- ・（調整中） 日本セルフセンター研究大会（調整中）
- ・ 6月（調整中） ナイスハートバザール・販売促進研修会（東京都）
- ・ 7月 17（木）～18（金） 令和7年度全国セルフ協総合研究大会（大阪大会）
- ・ 10月 23（木）～24（金） 関東社会就労センター研究大会（長野大会）
- ・（調整中） 全国共同受注窓口担当者会議（東京都）
- ・ 2月 26（木）～27（金） 令和7年度全国社会就労センター長研修会（調整中）

○ ぐんまセルフ関係

	内 容	期 日	備 考
会 議	・ 定時総会 ・ 理事会 ・ 役員会 ・ 専門部会 ・ ブロック会議	6月5日 5・3月 随時 随時 随時	群馬県社会福祉総合センター 群馬県社会福祉総合センター 群馬県社会福祉総合センター 群馬県社会福祉総合センター
研修会	・ 学習会、情報交換会 ・ 先進地視察研修 ・ 職員研修 ・ 部門別研修・情報交換	随時 年1回 年2回 随時	就労選択支援事業説明会等
事 業	・ セルフ協会員加入促進 ・ 情報発信・情報交換 ・ ぐんま SELP SHOP ・ 共同販売会 ・ ニッポンハムギフト販売 ・ セルフ自販機設置促進 ・ 消毒用アルコール共同購入 ・ 芸術・文化活動他必要な事業	随時 随時 年2回 年2回 年2回 随時 随時 随時	けやきウォーク前橋等 群馬県庁等 中元・歳暮
共同受注窓口 (県委託事業)	・ 共同受注窓口事務局運営 ・ 共同受注窓口ホームページ管理 ・ 共同受注拡大のための営業活動 ・ 共同受注斡旋・割り振り ・ 共同受注窓口会員拡大 ・ コンサルタント派遣 ・ 工賃向上研修会の開催 ・ あったかぐんまのハートバザールの開催 ・ 調査及び連絡・調整 ・ 農福連携事業の推進	通年 通年 随時 随時 随時 年2回 年2回 随時 通年	個別・集団・役員派遣方式 スマーク伊勢崎等 含農福連携マルシェ開催

